

課題番号 6

| 基本方針：Ⅰ                                            |                                                               | 課題名：水稻における環境保全型農業の推進                                              |  |
|---------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|--|
| 対象：大和高原地区化学肥料低減協議会<br>(宇陀市、山添村、曽爾村、御杖村水稻面積 885ha) |                                                               | 計画期間：R 5～R 7                                                      |  |
|                                                   |                                                               | 事務所名：東部農林振興事務所                                                    |  |
| 普及指導事項                                            | 活動内容                                                          | 活動成果（計画当初→R 6 年度末）                                                |  |
| ① 牛ふん堆肥を活用した化学肥料低減水稻栽培技術の検証並びに堆肥利用促進              | 検討会<br>実証圃設置<br>土壌分析<br>生育調査<br>収量調査<br>省力化調査・堆肥散布<br>マニュアル改定 | 牛ふん堆肥散布水稻面積<br>13.7ha → 18.3ha<br><br>マニュアル作成<br>未作成 → マニュアル改定    |  |
| ② 中山間地域における脱プラ肥料による水稻栽培技術の検証                      | 検討会<br>実証圃設置<br>生育調査<br>収量調査<br>マニュアル改定                       | 脱プラ肥料による水稻栽培面積<br>13.7ha → 18.0ha<br><br>マニュアル作成<br>未作成 → マニュアル改定 |  |

総合評価（コメント）

A：4名 B：2名

- 耕畜連携によるプラスチック削減は極めて重要な課題であり、継続的に取り組んでいただきたい。化成肥料を使用したときと同等の収量を目標としているが、環境保全しながら耕作放棄地を減らすという観点で言えば、収量が下がっても手間がかからない栽培方法を開発することも検討してはどうか。
- 各実証実験のデータ（収量等）も取得しておられ、これからの活動に大いに期待したい。
- いかに地域農業者による取り組みが進むかが今後の課題。よりよい取り組み手法の確立を期待します。
- 引き続き、牛ふん堆肥の有能性が実証されて、利用が増えるといいですね。
- 素晴らしい取り組みである。普及には時間がかかるかもしれませんが、検証を重ね、農業者への普及活動を続けてほしい。
- 有機農業については宇陀市がオーガニックビレッジ宣言をされていますので上手く連携が図れたらより良いものとなるのではないかな。

普及指導計画への反映状況等

- 牛ふん堆肥を活用した化学肥料低減水稻栽培技術の検証並びに堆肥利用促進については、R 6 年度末に、今年度実証試験に取り組んだ宇陀市、御杖村の集落営農組織を対象に、調査結果を報告し、R 7 年度の実証試験圃の説明および耕畜連携に向けた耕種側の意見聴取を行った。
- R 7 年度も実証展示圃を設置し、生育・収量の調査を行うが、耕種側と畜産側の意見交換の場を設けるなど耕畜連携の体制づくりを目的に役割を果たしていきたい。また、経営的な評価を加えたマニュアル改定を行う。
- 中山間地域における脱プラ肥料による水稻栽培技術の検証については、R 6 年度の調査結果をふまえ、今後の普及を目指し、3 月末に、J A ならけん等と管内地域の水稲に適した肥料銘柄の検討を行う。R 7 年度も実証試験圃を設置するが、宇陀市を中心に、環境保全に関心のある個人・集団の圃場で実証展示圃設置を行う。